



広報

2010 12 平成22年

# みずほ

発行/瑞穂町 編集/秘書広報課 毎月1回1日発行  
〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2335  
TEL 042 (557) 0501 (代表)  
ホームページ <http://www.town.mizuho.tokyo.jp/>

<b>人口と世帯</b>	人口	33,652人	(46人減)
	男	17,224人	(14人減)
	女	16,428人	(32人減)
11月1日現在	世帯	13,690	(11世帯減)
( )は前月比	外国人登録数		577人

No.587



## 瑞穂町70周年

11月10日、スカイホール小ホールで記念式典が行われました。

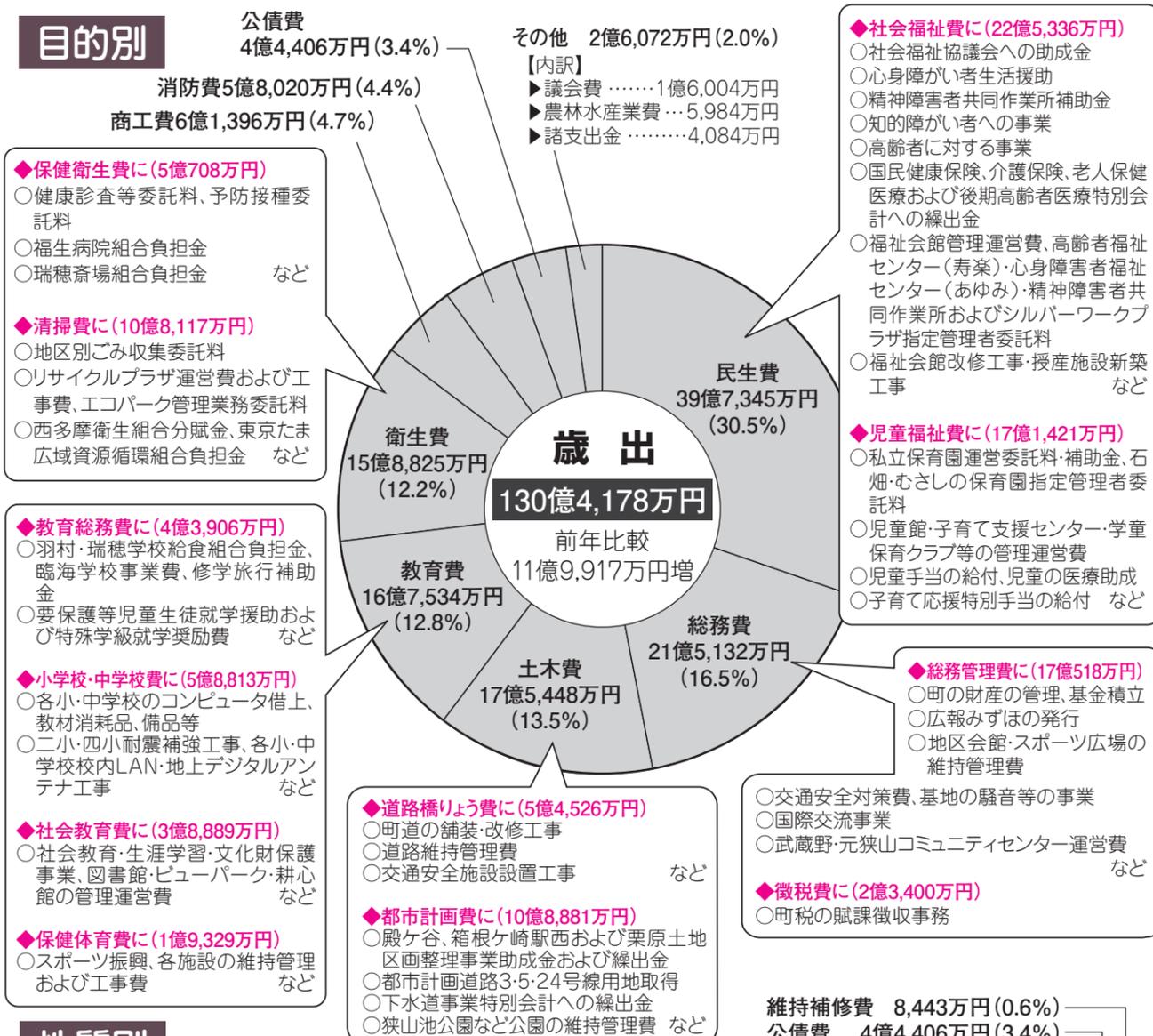
式典では、3名の名誉町民と町功労者のほか町制施行70周年記念の表彰が行われました。(関連記事14・15ページ)

### おもな内容

平成21年度決算報告・平成22年度財政執行状況	2~6
年末年始の窓口業務	7
みずほ伝言板	町職員の給与など人事行政の運営等の状況をお知らせします 8~9
福祉	平成23年度保育園児募集 平成23年度学童保育クラブ入所申請書の受付 ほか 10~13
インフォメーション	六道山公園で初日の出を 瑞穂町税賦課徴収条例の一部改正について ほか 18~23
教育委員会からのお知らせ	新年歩こう会 成人式のご案内 スポーツ吹矢教室 ほか 24~26

## 一般会計 使ったお金(歳出)

### 目的別



### 性質別

補助費 26億8,546万円 (20.6%)	物件費 21億8,583万円 (16.8%)	人件費 20億4,364万円 (15.7%)	扶助費 17億5,962万円 (13.5%)	普通建設事業費 17億2,422万円 (13.2%)	繰出金 16億1,693万円 (12.4%)	積立金 4億9,759万円 (3.8%)	維持補修費 8,443万円 (0.6%)
------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	----------------------------------	------------------------------	----------------------------	----------------------------

### 用語解説

〔維持補修費〕 公共施設を維持するために必要な補修などをするための経費

〔公債費〕 町の借金である町債に対する毎年度の元金の償還と、利子の支払いに要する経費

〔積立金〕 年度間の財源の不均衡を調整するためや公共施設建設のための基金などに積み立てるお金

〔繰出金〕 国民健康保険・介護保険・下水道事業会計などに対し、支出される経費

〔普通建設事業費〕 新築工事などの建設事業に要する経費

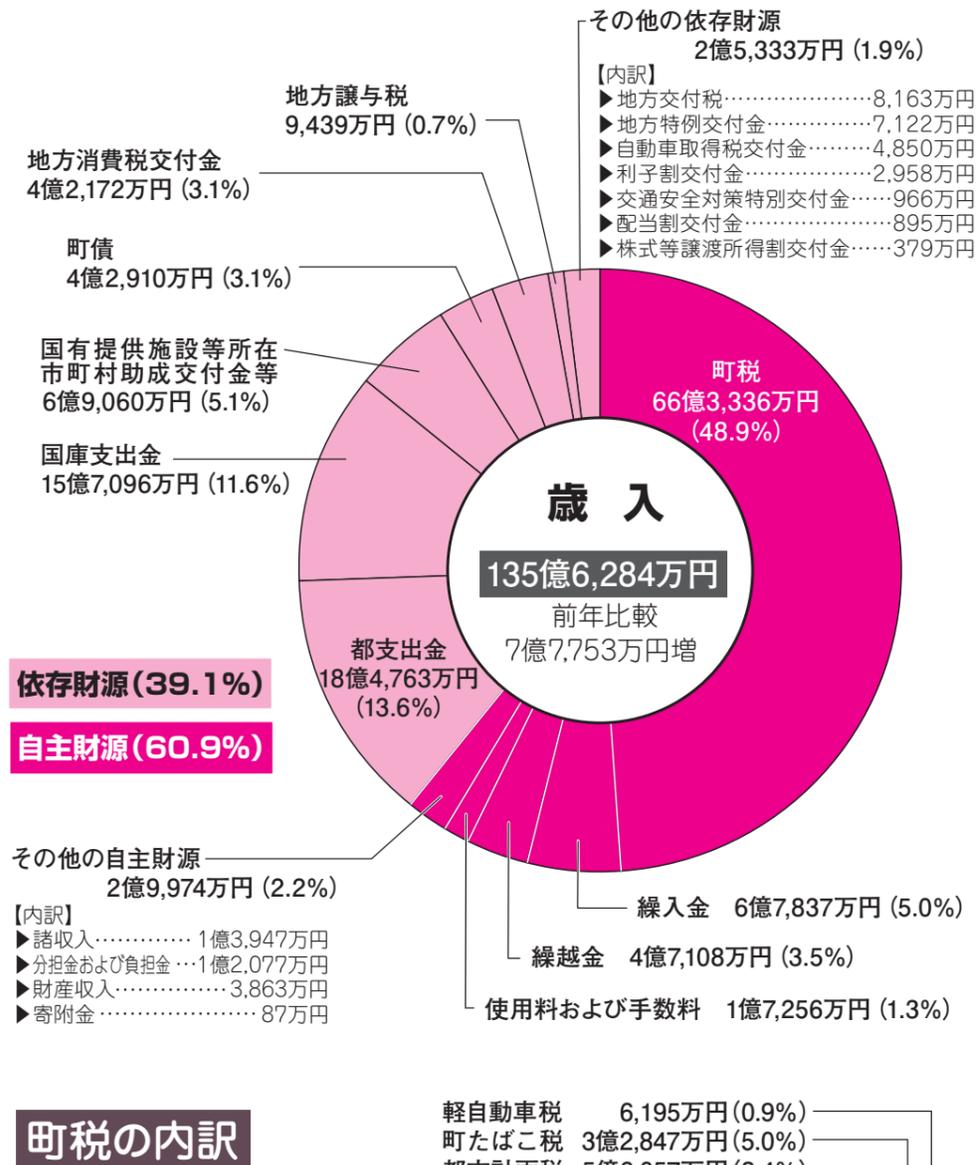
〔扶助費〕 社会保障制度の一環として、高齢者・児童、心身障がい者などを援助するための経費

〔人件費〕 職員・特別職の給与や退職金、町議会議員や各委員会の委員に支給される報酬など

〔物件費〕 賃金、旅費、消耗品費、燃料費、光熱水費、委託料、備品購入費など

〔補助費〕 町民や団体などが行う事業に対する補助金や、西多摩衛生組合や福生病院組合などの一部事務組合への負担金など

## 一般会計 入ったお金(歳入)



### 町税の内訳

固定資産税 33億6,677万円 (50.8%)	町民税 23億1,560万円 (34.9%)
-----------------------------	---------------------------

※都市計画税は、都市計画道路整備事業、下水道整備事業、土地区画整理事業に使いました。

# 決算報告

平成21年度一般会計の決算額は歳入総額135億6284万円、前年比で7億753万円の増額(6.1%増)となりました。歳出総額は130億4178万円で前年比で11億9917万円の増額(10.1%増)となり、また翌年度に繰り越すべき財源があったことから実質収支額(歳入総額-歳出総額-繰越明許繰越額)5億1604万円となりました。

## 平成21年度 決算にUSN

歳入では、前年度に引き続く経済不況により、個人所得の減収や企業業績悪化により、町民税が大きく減少し、前年度に比べ町税全体で3億9383万円の減額(5.6%減)と大幅な落ち込みがありました。一方、国や東京都の負担金助成金などの支出金では、特に国の支出金が前年度から繰り越された定額給付金事業や子育て応援特別手当事業、また国の経済対策として交付された地域活性化・経済危機対策臨時交付金等により増額となりました。

歳出では、行政改革を継続し、人件費等で支出を前年度以下となるよう抑制と節約を図り、予算の適正な執行に努めました。緊急経済対策として「みずほ超とくとく商品券」を発売し地元商店等の活性化を図りました。普通建設事業では、二小・四小の耐震補強工事、各小・中学校の校内LAN・地上デジタルアンテナ工事など教育施設の安全の確保と環境の整備を、また、福祉会館の改修工事、授産施設の新築工事など社会福祉施設の整備を主な事業として進めました。国際化の取り組みとして米国モーガンヒル市の中学生が町を訪問し、親善交流を深めました。高齢者・障がい者の方が自立した生活ができる町を目指し、福祉バスを購入し、福祉バス運行基金を創設しました。

問合せ 企画財政課  
TEL 557-7483

## 平成21年度決算における健全化判断比率の状況

平成19年度より「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行となり、平成21年度決算における健全化判断比率を算出しました。比率を見ることにより、瑞穂町がどのような財政状況であるかの判断材料となります。

**各比率から分かること**

- 平成21年度決算における各比率の状況は、実質赤字比率、連結実質赤字比率がマイナスの数値となり黒字決算となりました。
- 実質公債費比率は、借金の返済の割合が2%台にとどまり、無理のない返済をしていることがうかがえます。
- 将来負担比率もマイナスの数値となり、借金が将来においても無理のないレベルであることが分かります。

**結果、瑞穂町は健全財政を維持していることが分かります。**

健全化判断比率は、4つの比率があり各比率は次の通りです (単位：%)

区分	瑞穂町の平成21年度比率	早期健全化基準(黄色信号)	財政再生基準(赤信号)
実質赤字比率	—	13.88	20.00
連結実質赤字比率	—	18.88	40.00
実質公債費比率	2.6 (3年平均)	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	

備考：本表中、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は、マイナス数値のため、表示されません。参考数値として実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は次の通りです。  
 実質赤字比率：-6.88% 連結実質赤字比率：-7.87% 将来負担比率：-41.6%



関連として公営企業(下水道事業)における資金不足比率は次の通りです

資金不足額	事業の規模	資金不足比率	経営健全化基準
— 円	5億8,076万3,000円	— %	20.0 %

備考：資金不足額、資金不足比率はありませんので表示されません。参考数値として資金不足額、資金不足比率は次の通りです。  
 資金不足額：資金剰余額として3,056万1,000円 資金不足比率：-5.26%

**【実質赤字比率】**  
 一般会計等に係る歳入総額から歳出総額を差し引いた額の標準財政規模に対する割合です。一般会計等の決算額が黒字か赤字かを表す数値です。赤字がプラスの数値で表されるため、黒字はマイナスの数値で表されます。

**【連結実質赤字比率】**  
 一般会計、特別会計(財産区特別会計を除く)を対象とした実質赤字(または資金の不足額)の標準財政規模に対する割合です。一般会計、特別会計を合わせた決算額が赤字か黒字かを表す数値です。赤字がプラスの数値、黒字がマイナスの数値で表されます。

**【実質公債費比率】**  
 一般会計等が負担する元利償還金と準元利償還金の標準財政規模に対する割合です。標準的な収入のうち、借金(元利償還金、準元利償還金)の返済に充てている割合を表します。

**【将来負担比率】**  
 一般会計等が背負っている借金が、一般会計等の標準的な年間収入の何年分かを表します。

**【標準財政規模】**  
 地方公共団体の一般財源の標準規模を示すもので、当該団体の標準的な税収入額と普通交付税額(瑞穂町は不交付)を合算したものです。

**【資金不足比率】**  
 公営企業(下水道事業)の資金の不足額が、事業の規模に対するどの程度あるかを表します。一般会計等の実質赤字比率に相当するものです。

**【早期健全化基準】**  
 4つの健全化判断比率のうち、つども早期健全化基準を超える「財政健全化計画」を定め、議会の承認を得た後、財政健全化に向け努力しなければなりません。

**【経営健全化基準】**  
 基準を超えると「経営健全化計画」を定め、議会の承認を得た後、経営健全化に向けて努力しなければなりません。

**【財政再生基準】**  
 早期健全化段階より悪化した状態で、将来負担比率以外の比率のうちつども財政再生基準を超えると「財政再生計画」を定め、議会の承認を得た後、総務大臣に報告し、財政再生に取り組みなければなりません。

### 用語解説

## 平成21年度の一般会計決算

町民一人当たりが  
町に納めたお金(町税負担額)

19万7千円

町民一人当たり  
掛かったお金(支出額)

38万7千円

※そのほかの収入として、国や都の負担金・助成金などがあります。

\*負担額は町税を、支出額は一般会計歳出総額を平成22年3月31日現在の人口(33,732人)で割った金額です。

町民一人当たり  
に掛かった  
お金の内訳

- 総合福祉対策に 11万8,000円
- 地域振興・町有財産管理に 6万4,000円
- 道路・公園等の整備に 5万2,000円
- 教育・文化事業に 5万円
- 健康管理や環境衛生に 4万7,000円
- 災害対策に 1万7,000円
- 借金の返済に 1万3,000円
- その他 2万6,000円

## 特別会計

会計別	最終予算額	収入額(収入率)	支出額(執行率)
国民健康保険	36億1,912万円	35億7,566万円(98.8%)	35億4,598万円(98.0%)
駅西土地区画整理事業	4億5,341万円	4億5,341万円(100.0%)	4億5,170万円(99.4%)
下水道事業	10億1,741万円	10億2,656万円(100.9%)	9億9,599万円(97.9%)
老人保健医療	1,628万円	1,551万円(95.3%)	926万円(56.9%)
介護保険	14億6,258万円	14億4,214万円(98.6%)	14億3,651万円(98.2%)
後期高齢者医療会計	3億9,495万円	3億8,105万円(96.5%)	3億7,848万円(95.8%)
殿ヶ谷財産区	763万円	763万円(100.0%)	645万円(84.5%)
石畑財産区	2,573万円	2,495万円(97.0%)	2,055万円(79.9%)
箱根ヶ崎財産区	911万円	911万円(100.0%)	738万円(81.0%)
長岡財産区	180万円	180万円(100.0%)	153万円(85.0%)

## 町の財産

●土地	49万947㎡	▶瑞穂斎場周辺整備基金	1億4,453万円
●建物	8万2,801㎡	▶緑の基金	1億159万円
●基金総額	89億9,899万円	▶教育振興基金	1億4,710万円
【内訳】		▶健康づくり基金	4,308万円
▶財政調整基金	17億5,145万円	▶安全・安心まちづくり基金	2,708万円
▶公共施設建設基金	44億3,731万円	▶教育向上基金	6,224万円
▶国民健康保険基金	181万円	▶福祉バス運行基金	1,900万円
▶国民健康保険高額療養費貸付基金	300万円	▶介護従事者処遇改善臨時特例基金	875万円
▶まちづくり振興基金	1億5,831万円	▶殿ヶ谷財産区基金	1億5,601万円
▶社会福祉基金	2億9,844万円	▶石畑財産区基金	2億9,754万円
▶減債基金	4億3,766万円	▶箱根ヶ崎財産区基金	2億2,440万円
▶西部地区公共施設整備基金	4,890万円	▶長岡財産区基金	422万円
▶総合体育施設建設基金	5億3,317万円	●物品・車両・備品	347台・式等
▶介護給付費準備基金	9,340万円		

## 町債の現在高

●一般会計事業債	45億4,908万円	●駅西土地区画整理事業債	11億6,776万円
●下水道事業債	31億6,493万円		

問合せ 企画財政課 TEL 557-7483